

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	学年	第3学年	類型	II型文系
単位数	2単位	教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）				
補助教材							

学習目標	<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立って、現代社会の諸課題を追求したり、解決に向けて構想したりする活動を通して以下の資質能力の育成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 諸資料から社会のあり方にかかわる情報を効果的に調べまとめる能力。</li> <li>2 国家及び社会の形成者として、議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力。</li> <li>3 国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする姿勢。</li> </ol>
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期考査
1学期	4月	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法の支配や立憲主義の意味や意義について学び、基本的人権の確立および人権保障のための過程について理解する。</li> <li>・民主政治のあり方や国会、内閣の関係について理解する。</li> <li>・司法権の独立と日本の裁判制度について理解し、日本国憲法と現代政治のあり方について、より良い社会の実現を視野に考察し、諸課題を解決しようとする姿勢を身に付ける。</li> <li>・地方自治についての学習を通し、望ましい政治および主権者としての政治参加のあり方について、自己の考えを醸成する。</li> <li>・経済の役割と資本主義などの経済体制、市場経済のしくみについて理解する。</li> <li>・公害や消費者問題など市場の失敗について理解し、「市場の機能と限界」について、多面的・多角的に考察・構想・表現する。</li> </ul>	中間考査
	5月	第1章 現代日本の政治・経済 1節 日本国憲法と現代政治のあり方		
	6月	2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加		期末考査
	7月	3節 市場経済の機能と限界		
2学期	8月	4節 持続可能な財政および租税のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の機能としくみについて、理解していく中で、持続可能な租税のあり方に向けた考察を深める。</li> <li>・金融のはたらきと金融機関の役割について、理解する。</li> <li>・日本の中小企業や農業経営者、労働問題、社会保障制度などの課題について理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・社会的な見方・考え方を働かせ、他者と共同して現代社会の諸課題を探究する活動を通して、より良い社会のあり方についての自分の考えを説明、論述する。</li> <li>・21世紀以降の国際社会の変遷について理解している。</li> <li>・国際法の種類や特徴に加え、国際裁判のしくみを理解している。</li> <li>・国際連合の機能と主要機関の役割について理解を深め、国際連合の課題を多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・国際紛争の原因および核廃絶のための施策について理解する。</li> <li>・平和主義の理念と自衛隊や日米安全保障協力といった日本の防衛政策について、理解する。</li> <li>・比較優位の考えや国際分業の利点についての学習を通し、日本の貿易の現状の動向や国際収支統計の構成について理解を深める。</li> <li>・為替相場の推移や、地域的経済統合を理解し、地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について考えを深める。</li> <li>・国際経済における日本の地位と経済安定、成長のために求められる日本の役割について理解する。</li> </ul>	中間考査
	9月	5節 金融を通じた経済活動の活性化		
	10月	6節 経済活動と福祉の向上		期末考査
	11月	第2章 現代日本の諸課題の探求		
	12月	第2編 グローバル化する国際社会の課題 第1章 現代の国際政治・経済 1節 国際法の果たす役割		
	12月	2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 4節 国際経済において求められる日本の役割		
3学期	1月	第2章 国際社会の諸課題の探求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な見方・考え方を働かせ、他者と共同して国際社会の諸課題を探究する活動を通して、より良い国際社会のあり方についての自分の考えを説明、論述する。</li> </ul>	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	<p>授業で学ぶ内容についてしっかりと取り組み、自ら考えたり判断したりしながら、自らの言葉を使って学習内容を整理してまとめましょう。学習に際して、学習内容を自分の文章で要約したり、要点を整理したりすることも大切です。また、普段から時事ニュースに関心を持ち、社会で起こるさまざまな出来事について自らの問題として考えていく習慣を身に付けましょう。</p>
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
	<p>社会的な事象および、現代社会の諸問題の概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会のあり方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめられている。</p>	<p>国家及び社会の形成者として、政治・経済の概念や理論を活用して、現実社会の課題を把握し、説明するとともに、身に付けた知識や判断基準を根拠に、議論し公正に判断している。</p>	<p>よりより社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度やノート、授業プリント、確認問題集等の活用状況を点検し評価します。</li> <li>・資料をもとに、思考・判断する能力を小テストや定期考査の問題等で評価します。</li> </ul>		